

## 「資産運用コンサルティングのポイント Vol.36～ ETF と投資信託の違いを整理する～後篇～>」



株式会社 ZUU の富田和成です。前回に引き続き、ETF のメリットを見ていきたいと思います。

### ■ETF 第二のメリット：少額からはじめられる

第二のメリットは、少額から始められることです。銘柄ごとに売買単位が決められていますが、数千円～数万円から取引できる銘柄が大半で、手軽に始めることができます。

投資未経験者から本格的な資産運用まで、柔軟に利用していける金融商品といえるでしょう。たとえば、東証株価指数（TOPIX）をベンチマークとする国内 ETF、野村 TOPIX 連動型上場投信の最低購入金額は 1 万 5750 円（2015 年 12 現在）、信託報酬は税抜で 0.11%。ダイワ上場投信トピックスは、最低購入金額 1 万 5940 円（同）、信託報酬は同じく税抜で 0.11%となっています。

### ■ETF 第三のメリット：値動きがリアルタイムで確認できる

3 番目のメリットは、取引所に上場しているため、現物株式と同様、値動きをリアルタイムで確認することができます。取引時間中は、パソコンやスマートフォンから気になる銘柄の確認がいつでもどこでもできます。一般的な投資信託は非上場のため、買い付け段階では価格が分かりません。この点では ETF のほうが圧倒的に安心といえるでしょう。

### ■ETF 第四のメリット：リアルタイム売買ができる

最後に、一番重要な売買について。通常、投資信託は毎日の取引終了後に公表される基準価額での取引となるため、売買できるのは 1 日に 1 回だけです。希望する価格を指定して購入や解約をすることはできない。しかし ETF は、相場の動きを見ながら売買もリアルタイムでできます。忙しい人にはピッタリで、売買の手軽さでも ETF のほうが上といえます。

## ■ETF の情報はどこで見ればよい？

また、上場されている ETF 銘柄を探すには日本経済新聞の Web サイトが便利です。当日の価格はもちろん、連動する指数、運用会社、売買単位などが一覧できます。また ETF の過去一定期間の騰落率や分配金の実績、組み入れ銘柄などの詳細はそれぞれの運用会社が作成する月次レポートを見ればわかります。

## ■リスクも考え慎重な選択を

運用にはリスクがつきものです。基準価格は日々変動しており、市場が急変する可能性も常にはらんでいます。銀行への預け入れとは違い、元本が保証されているものではありません。もちろん運用がうまくいき、利益が得られることもあります。しかし投資した額を下回って、最終的に損をすることもあります。

運用の結果がどうなるか。100%確実な方法がないのは ETF も投資信託も同じです。それならば、コストが少ない方を選ぶというのはひとつの方法だといえます。その視点で考えると投資信託よりも ETF のほうが圧倒的に有利といえ、投資初心者が勧められていい商品といえるでしょう。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

[http://zuu.co.jp/company/ceo\\_message](http://zuu.co.jp/company/ceo_message)

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuoadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 企画開発部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488